

事業所名

済生会明和病院なでしこ（児童発達支援）

支援プログラム

作成日： 2026 年 5 月 1 日

法人（事業所）理念		みんなを笑顔に。ともに歩み、ともに育ち、ともに生きる。							
支援方針		・ 利用者の安全と安心を基本とし、個々の成長や特性、個性に合わせた活動プログラムを提供します。 ・ 「その人らしさ」を大切に、良いところを引き出しながら心身の発達に繋がる支援を提供します。 ・ 一人ひとりの「やりたい、やってみたい」という意欲を大切に、楽しみながら共に成長できる環境作りを目指します。							
営業時間		9 時	分から	17 時	分まで	送迎実施の有無	あり	なし	※ 要相談
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・ 利用前後や利用中に健康状態の確認（検温・バイタルチェック等）を行い、医療的ケアを含めた必要な支援を実施します。 ・ 体操や集団活動を通して、体力維持や運動機能の向上を支援します。 ・ 食事、睡眠、排泄、更衣等の基本的な生活習慣や生活リズムが身につくよう支援します。 ・ 個々の身体機能や発達状況に応じて、食事支援や日常生活動作の習得、自立に向けた支援を行います。 ・ 安心して過ごせる環境を整え、遊びや活動を通して集団生活への適応を支援します。							
	運動・感覚	・ 体操や感覚運動遊びを通して、姿勢保持や運動機能、筋力の維持・向上を支援します。 ・ 補助用具や補助機器を活用し、姿勢の安定や移動能力、日常生活動作の向上を図ります。 ・ 様々な運動遊びや活動を通して、バランス感覚や感覚統合の発達を促し、集中力や持続力の向上につなげます。 ・ 屋内外の活動や季節行事を取り入れ、安全に楽しく経験の幅を広げられるよう支援します。 ・ 感覚特性に配慮し、環境調整を行いながら、一人ひとりに合った活動参加を支援します。							
	認知・行動	・ 視覚・聴覚・触覚等を活用し、絵や写真、文字等を用いて認知機能の発達を支援します。 ・ タイムテーブルやルールの視覚化により、情報を理解しやすくし、見通しを持った行動を支援します。 ・ 創作活動やゲーム、感触遊び等を通して、数・色・形・感覚等の認知形成を促します。 ・ 散歩等の活動を通して、季節や環境への気づきや感性の発達を支援します。							
	言語 コミュニケーション	・ 活動や遊びを通して、言葉の理解や発語など体系的な言語習得を支援します。 ・ 自分の意思を伝えたり援助を求めたりできるよう、適切なコミュニケーション行動を支援します。 ・ 絵カードや身振り、文字等を活用し、個々に応じた意思伝達や環境理解を支援します。 ・ 他者との関わりや玩具のやり取りを通して、社会性や対人関係の発達を支援します。							
	人間関係 社会性	・ コミュニケーションを通して信頼関係を築き、安定した対人関係の形成を支援します。 ・ 個々の特性に応じて、感情のコントロールや適切な行動ができるよう支援します。 ・ 集団遊びを通して、ルール理解や協力など社会性の発達を支援します。 ・ 他者との関わり方を示しながら、肯定的な関わりが増えるよう支援します。 ・ 成功体験を積み重ね、安心して集団生活に参加できるよう支援します。							
家族支援		・ 半年に1回保護者面談を行い、家庭での様子や本人の状態を把握し、困りごとへの助言を行います。 ・ 年1回家族の会を実施し、保護者同士が交流できる機会を設けます。 ・ ふれあい会等を通して親子や保護者同士が交流し、活動を一緒に楽しめる機会を提供します。			移行支援		・ 保育所等への訪問や会議を通じて、児童の心身の状況や生活環境に関する情報共有を行います。 ・ 就学時には必要に応じて学校と情報共有を行い、環境変化に伴う課題の整理と解決に向けた支援を行います。		
地域支援・地域連携		・ 関係機関の連携会議に参加し、情報共有や役割の確認を行いながら、連携体制を構築します。 ・ 関係機関からの情報をもとに、具体的な場面での関わり方や対応方法を提案します。			職員の質の向上		・ 緊急バス勉強会（2回/年）：緊急時の対応、心臓蘇生訓練等 ・ e-ラーニング ・ OFF-JT、新人研修、感染症対策等の内部研修の実施 ・ 法定研修(接遇、虐待防止、人権等) ・ 県社協のキャリアアップ研修 ・ 県外：日本重症心身障害福祉協会、心身障害児総合医療療育センター主催の研修等		
主な行事等		・ 季節行事（端午の節句、七夕、夏遊び、秋遊び、ハロウィン、クリスマス会、節分、ひな祭り等）、ふれあい会（親子療育） ・ 誕生日会 ・ 防災訓練（机上訓練、実施訓練）：1回/月							